

市民参画でつながる地域社会の形成

施策で目指す姿

● 立場の異なる様々な主体が、適切な役割分担のもとに連携し、相乗効果を高めながら、地域への愛着を深めることで、暮らしやすく、魅力ある地域社会の形成を目指します。

● また、霧島市国際交流協会や関係団体等と連携・協働しながら、多くの市民の参加により、姉妹都市をはじめとする、国内外の都市との多彩な交流を進めるとともに、国際感覚を身につけ、世界で活躍できる人材の育成に積極的に取り組みます。

施策の現状と課題

市民にとって最も身近な住民組織である地区自治公民館・自治会は、防災・防犯、子育て、高齢者の見守り、環境美化等、市民が生活する上での様々な問題を解決する役割を担っていますが、人口減少やライフスタイルの多様化、地域における連帯感の希薄化などにより、単独の自治会等による地域課題の解決が困難な状況が見受けられます。

また、地域では、リーダーの高齢化や自治会役員への負担の集中等の課題があるほか、全市的に自治会加入率は減少傾向にあることから、地域活動を担うリーダーや新しい公共の担い手となるNPO※1等の団体が育つ環境を整備していく必要があります。

さらに、「道義高揚・豊かな心推進宣言都市」として道徳の振興を図るため、関連事業の普及・啓発を更に推進していく必要があります。

近年、国や地域を越え、人・モノ・情報等の移動が世界的に拡大していることから、国内外の様々な都市との交流を通じ、異文化に対する正しい認識や魅力などを広く伝えるとともに、霧島市国際交流協会等との連携を強化し、市民レベルでの交流の拡大やグローバル人材※2の育成を進めていく必要があります。

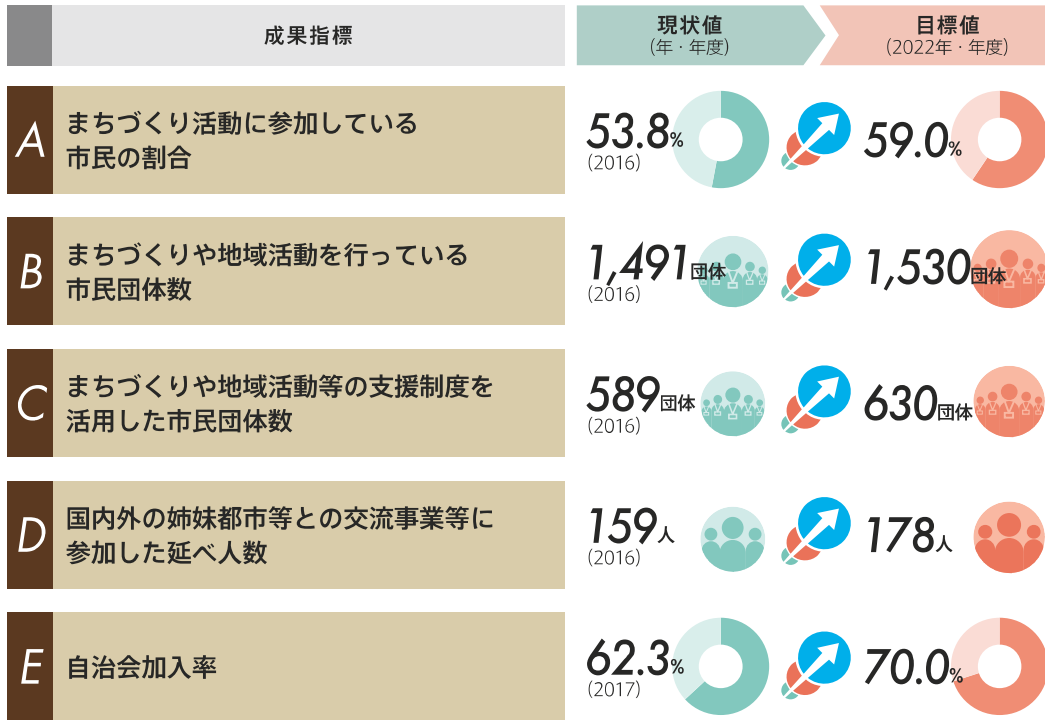
注釈

※1 NPO / 非営利活動法人(Non Profit Organizationの略称)。ボランティア活動などの社会貢献活動を行う、営利を目的としない団体を指す。

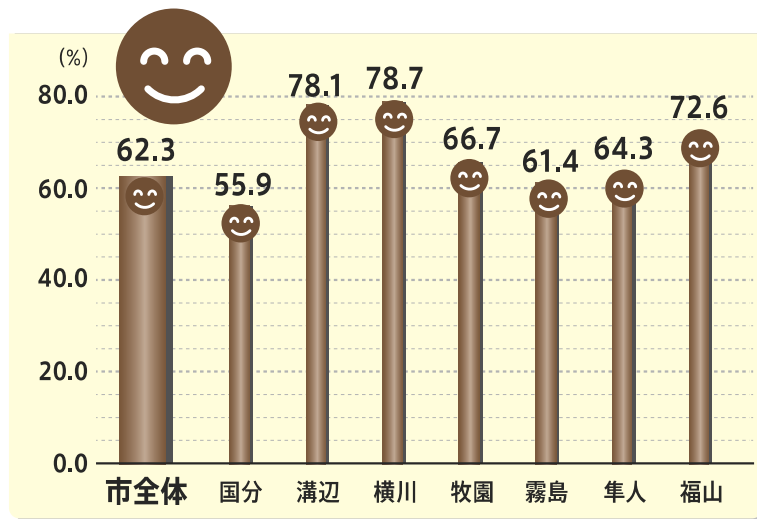
※2 グローバル人材 / 世界的な競争と共生が進む現代社会において、日本人としてのアイデンティティを持ちながら、広い視野に立って培われる教養と専門性、異なる言語、文化、価値を乗り越えて関係を構築するためのコミュニケーション能力と協調性、新しい価値を創造する能力、次世代までも視野に入れた社会貢献の意識などを持った人間。

個別計画名	担当課	計画期間(西暦)	08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28																														
			[Progress bars for each month]																														
関連個別計画	生涯学習推進計画	社会教育課	2014-2019			[Progress bars]																											
	観光総合戦略	霧島PR課	2018-2022			[Progress bars]																											

成果指標



■ 関連データ



自治会加入率(2017年7月1日現在)

施策の目標達成のための基本事業

1. 市民活動の支援と協働の推進

「道義高揚・豊かな心推進大会」、「新春市民のつどい」など道義高揚^{※3}に関するイベント内容の充実や市民総参加による「ふれあいボランティア」等の推進により、地域社会を形成する市民意識の醸成を図ります。

また、地区自治公民館・自治会が実施する地域活動及び市民団体(ボランティア団体、NPO^{※4}等)が実施する公益的な活動に対する支援を行うとともに、連携・協働体制の強化を図り、市民参画によるまちづくりを推進します。

2. 国際・国内交流の推進

霧島市国際交流協会などと連携し、友好交流都市^{※5}をはじめとするアジア諸国など多くの都市との交流を展開することにより、市民が海外の文化に触れ、理解を深める機会を増やすとともに、青少年海外派遣事業等の実施により、国際的な視野を持つグローバル人材^{※6}の育成を図ります。

また、中・高校生をはじめとする市民レベルによる岐阜県海津市などの姉妹都市との交流を通じて、地域間相互の理解を深めるとともに、健全な青少年の育成に努めます。

注釈

※3 道義高揚 / 人のふみ行うべき正しい道を高めること。

※4 NPO / 非営利活動法人(Non Profit Organizationの略称)。ボランティア活動などの社会貢献活動を行う、営利を目的としない団体を指す。

※5 友好交流都市 / 中国陝西省銅川市耀州区、中国湖南省瀏陽市。

※6 グローバル人材 / 世界的な競争と共生が進む現代社会において、日本人としてのアイデンティティを持ちながら、広い視野に立って培われる教養と専門性、異なる言語、文化、価値を乗り越えて関係を構築するためのコミュニケーション能力と協調性、新しい価値を創造する能力、次世代までも視野に入れた社会貢献の意識などを持った人間。

みんなができること



市民

- ▶ 自治会に加入しましょう。
- ▶ 自治会活動、地域のイベントに主体的に参加し、地域の交流の輪を広げましょう。
- ▶ 講座やイベントなどへの参加を通じ、国際・国内交流の輪を広げましょう。

地域

- ▶ 住民がまちづくり活動に参加しやすい環境をつくりましょう。

事業所等

- ▶ 地域で活動する様々な団体や行政と連携を図りながら、身近な地域課題の解決に取り組みましょう。



地域の人と一緒に七夕の飾りつけ



海外都市との交流

人権の尊重と男女共同参画の推進

施策で目指す姿

一人ひとりが互いに人権を尊重し、国籍・年齢・性の違い、障害の有無等にかかわらず、多様性を認め合いながら、いきいきと輝き暮らせるまちを目指します。

施策の現状と課題

学校でのいじめ、子どもや高齢者・障がい者への虐待、DV^{※1}、部落差別、障がい者や認知症、難病^{※2}等の人への差別など市民生活においてさまざまな人権問題が存在しています。そのため、これまで以上に学校、地域社会、家庭、事業所等あらゆる場を通じて、人権教育・啓発を推進し、市民一人ひとりの人権が尊重されるまちづくりを進めていく必要があります。

また、性別による固定的な役割分担意識^{※3}の解消や政策方針決定の場への女性の参画は進みつつあるものの、十分に浸透しているとはいえない状況です。男女がともに、仕事、家庭、地域生活など、多様な活動を自らの希望に沿った形で展開できるよう、性別による固定的な役割分担意識の是正に向けた意識啓発、ワーク・ライフ・バランス^{※4}の推進や多様な働き方が選択できる環境づくり等への取組が求められています。

平和や非核は全世界共通の願いです。しかしながら、国際社会においては、地域紛争、国際テロなどが多発している状況にあります。戦争の記憶を風化させることなく、平和の尊さや戦争の悲惨さを次世代に受け継いでいくことは、「非核平和宣言都市」として重要な役割であり、平和を尊重する意識の醸成を図ることが一層重要となっています。

注
釈

※1 DV / 配偶者、交際の相手方等親密な関係にあり、又は親密な関係にあった男女間において、個人の尊厳を侵すような身体的、精神的、社会的、経済的又は性的な暴力。

※2 難病 / ①発病の機構が明らかでなく、②治療方法が確立していない、③希少な疾病であって、④長期の療養を必要とする疾病。

※3 性別による固定的な役割分担意識 / 「男性、女性という性別で役割が定まっている」という考え方や意識。

※4 ワーク・ライフ・バランス / 働く人が仕事上の責任を果たそうとすると、仕事以外の生活でやりたいことや、やらなければならないことに取り組みなくなるのではなく、両者を実現できる状態のこと。

施策の目標達成のための基本事業

1. 人権教育・啓発の推進

市民が、自らの問題として人権問題に関心を持ち、より多くの市民が人権問題への理解を深めることができるよう、市民や事業者、教育機関などと連携して、様々な場面で効果的な人権教育・啓発事業を実施し、人権意識の高揚を図ります。

2. 人権を侵害するあらゆる行為の根絶

DV^{※5}、虐待、ハラスメント^{※6}等の人権を侵害するあらゆる行為の根絶に向けた正しい理解を広く浸透させる広報・啓発活動を図ります。

また、複雑多様化する人権相談に迅速かつ的確に対応できるよう、関係機関との連携や相談体制の充実を図り、被害者が相談しやすい環境づくりを進め、人権侵害被害者の救済やDV・虐待等の早期発見・対応に取り組みます。

3. あらゆる分野における男女共同参画の推進

「男性は働き、女性は家事や育児に専念するべき。」といった性別に基づく固定的な役割分担意識や性差に関する偏見を解消し、男女共同参画に関する認識や理解が進むよう、積極的な広報・啓発活動を展開します。

特に、女性の活躍推進に向けた社会的な気運の醸成を図るとともに、働き又は働こうとする全ての女性が、個性と能力を十分に発揮できるよう、県及び関係機関等と連携して、女性の経営への参画及び管理職等への登用促進など女性が働きやすい環境の整備や、結婚、妊娠・出産、育児等で離職した女性の再就職支援等に取り組みます。

4. 平和意識の醸成

国分溝辺特攻慰霊祭、市戦没者追悼式等を通じて、次の世代へ途切れることなく、市民が平和の大切さや命の尊さへの理解を深めるための取組を推進します。

注釈

※5 DV / 配偶者、交際の相手方等親密な関係にあり、又は親密な関係にあった男女間において、個人の尊厳を侵すような身体的、精神的、社会的、経済的又は性的な暴力。

※6 ハラスメント / 嫌がらせや相手を不快にさせる行動のこと。

みんなができること



市民

- ▶ 一人ひとりが人権の大切さを認識し、個の違いを豊かさとして認め合いましょう。
- ▶ 男女共同参画の意義を理解し、家庭、地域、職場等への浸透を図りましょう。
- ▶ あらゆる暴力を絶対にしない、許さない意識をもちましょう。
- ▶ 平和の大切さや命の尊さを次の世代に伝えましょう。

事業所

- ▶ 働きやすい職場づくりを徹底し、ワーク・ライフ・バランスを推進しましょう。



男女共同参画カルタのイラスト



人権の花運動開会式

5-3 活力ある地域づくりの推進

施策で目指す姿

● 地域や関係機関と連携し、地域に居住している人たちが、地域そのものに誇りを持つ意識の醸成を図るとともに、関係人口^{※1}の拡大や移住定住の促進等を通じ、個性豊かで活力のある地域社会の形成を目指します。

施策の現状と課題

本市の人口は、2005（平成17）年の合併時と比較して、国分・隼人地区は増加しているのに対し、溝辺、横川、牧園、霧島、福山の5地区合計では、約17パーセント減少しています。そのため、一部の地域においては、自治会の役員、祭り等の伝統行事の継承、共有財産の管理など、地域を維持するための担い手が不足している状況です。

このような状況において、活力ある地域づくりを推進していくためには、地域に居住している人たちが、学習や他地域に住む人々との対話を通じ、自らが居住する地域の魅力を再認識し、地域への誇りを醸成していくことが大切です。

また、近年、大都市圏に居住する人々が、地方への「あこがれ」や移住希望を有していることが明らかになっていることから、移住に関する情報の発信や相談対応の充実などを強化していく必要があります。

一方、移住以外の関わりを求める方も多く存在し、観光やイベント参加に関心がある方のほか、農作業や祭り等の地域活動への参加や地元の人との交流のための滞在、二地域居住^{※2}など、地域への関わり方が多様化していることから、地域住民のニーズを的確に把握し、関係したい人と地域住民とのマッチング^{※3}を行うなどの体制を構築していく必要があります。

さらに、これらの取組と連携した婚活イベント等の開催により、地域の魅力を市内外の多くの方に知ってもらい、結婚を通じて移住を検討する方を増やすなど、中長期的な視点に立った取組も必要です。

注
釈

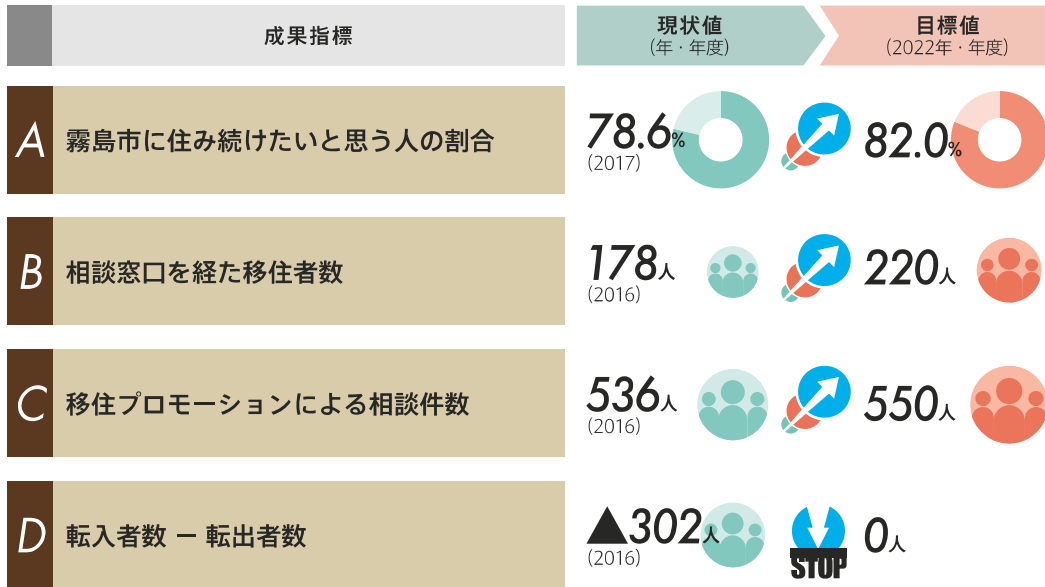
※1 関係人口 / その地域に現在居住していないものの、出身者や勤務経験者であるなど継続的な関わりがある人。

※2 二地域居住 / 都会に暮らす人が、週末や1年の一定期間を農山漁村で暮らすこと。

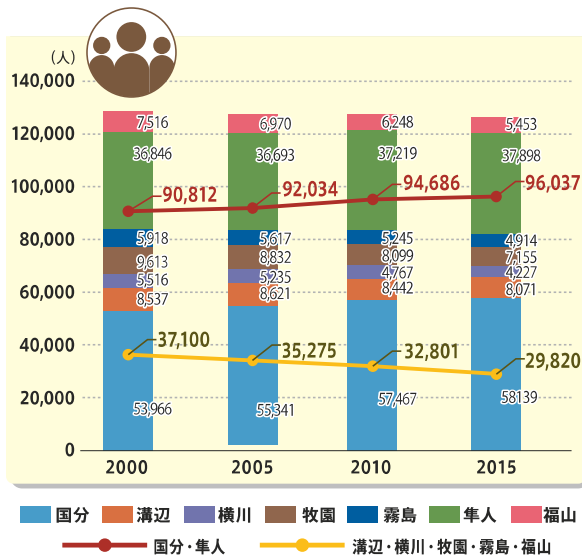
※3 マッチング / 働けるよう結びつけること。

個別計画名	担当課	計画期間(西暦)																													
		08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28									
関連個別計画																															

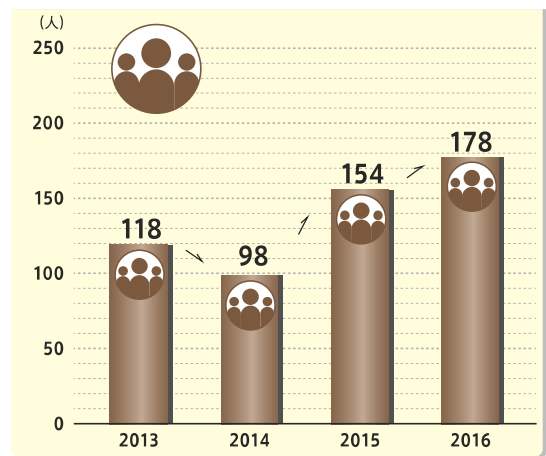
成果指標



■ 関連データ



地域別人口の推移



相談窓口を経た移住者数

政策5
3 活力ある地域づくりの推進

施策の目標達成のための基本事業

1. 中山間地域^{※4}の活動支援

交流人口の増加や地域の活性化のために、引き続き「元気なふるさと再生集落^{※5}」に集落支援員を配置するとともに、地域が交流事業を実施する際、民間企業の従業員や大学生、市職員などを支援要員として派遣する「マンパワー支援事業」を実施するなど、地域自らが活性化に取り組むことができる環境づくりを推進します。

また、中山間地域の公共施設や空き家・空き店舗などの既存ストック^{※6}を有効活用し、小さな拠点を形成することにより、地域の特性を生かしたまちづくりに取り組みます。

2. 移住定住の促進

移住を検討されている方々へ本市の魅力を伝えるため、三大都市圏での移住定住促進イベントへの参加や各種媒体を通じた広告等により、本市を全国に広くPRし、移住者向けの情報提供を積極的に行います。

また、中山間地域の活性化を図るため、移住者に対しきめ細やかな支援を行います。

3. 出逢いと結婚の支援

官民協働で企画・運営等を行うイベントの開催や、民間事業者が実施する交流イベントや結婚支援策の積極的な情報発信等に取り組みます。

また、不安なく結婚に踏み出せるような支援など、出逢い・結婚に繋がるサポート体制の充実に努めます。

注釈

※4 中山間地域 / 国分・隼人地区の市街地を除く他の地域。

※5 元気なふるさと再生集落 / 65歳以上の人口比が5割を超え、地域活動が困難な状況になりつつある地区自治公民館。

※6 既存ストック / これまでに整備された基盤施設や公共施設、建築物等の都市施設。

みんなができること



市民

- ▶ 地域活動に積極的に参加し、地域の活性化に協力しましょう。
- ▶ 自らが居住する地域を知り、地域の魅力を語れるようになりましょう。

地域

- ▶ 移住者が地域社会に溶け込めるようコミュニケーションを深めましょう。
- ▶ 他地域に住む人々と積極的に交流しましょう。

事業所等

- ▶ 移住者が活躍できる雇用の場を提供しましょう。



移住者と地元の方々



佳例川地区自治公民館と農援隊の皆さん

市の魅力と価値を高める多角的 施策の展開

施策で目指す姿

多様化・高度化する市民ニーズに対して効率的かつ効果的なサービスを提供するため、市民をはじめ産官学^{※1}等が一体となった課題解決や、行政界を越えた地域間による広域連携を推進します。

また、霧島ジオパークを構成する地域の持続可能な発展を目指し、ユネスコ世界ジオパーク^{※2}認定に向けた活動を推進するとともに、市民参加型の情報発信の強化など、市民と一体となったまちづくりと魅力の発信に取り組みます。

施策の現状と課題

情報通信手段の急速な発展・普及等に伴い、市民の生活圈や経済圏は、既存の行政区域を越えて広がっています。そのため、近隣市町をはじめとする基礎自治体同士の連携を推進することで、住民生活に必要な都市機能や生活機能について、行政区域を越えた地域全体として確保するとともに、各自治体の地域資源を活用し、ともに魅力ある地域づくりを進めていく必要があります。

また、多様化・高度化する市民ニーズに的確に対応し、地域課題を解決していくためには、企業、教育機関などが、それぞれの特色や役割を生かした活動を展開するとともに、行政も含め、これらの多様な主体相互の連携が求められており、特に、霧島ジオパークについては、「ユネスコ世界ジオパーク」認定を目指す上で地域間や民間団体との連携による更なる広域的な活動に向け、課題の把握や問題解決のための取組を推進していく必要があります。

さらに、市の発展には、市民が積極的に市政に参画し、相互に連携して、広く情報発信することが必要不可欠であることから、まちづくり、観光、移住定住等の各施策と市のブランド力を高めるシティプロモーション^{※3}との連動を強化するとともに、その柱として取り組んでいる、「キリシマイスター認定制度^{※4}」の更なる展開を図る必要があります。

注
釈

※1 産官学 / 産業界、国や自治体、大学や研究機関の総称。

※2 ユネスコ世界ジオパーク / 国際的な地質学的価値を持つ場所や景観が、保護や教育、持続可能な地域発展などの全体的な概念とともに運営されるひとつの統一された地理的領域のこと。ユネスコの国際地質科学ジオパーク計画(IGGP)の一事業として実施されている。現在、世界で35か国・127のユネスコ世界ジオパークが認定されており(2017年8月現在)、日本からは8地域(洞爺湖有珠山、糸魚川、島原半島、山陰海岸、室戸、隠岐、阿蘇、アボイ岳)が認定されている。

※3 シティプロモーション / 地域を持続的に発展させるために、地域の魅力を創出し、地域内外に効果的に訴求し、それにより、人材・物財・資金・情報などの資源を地域内部で活用可能としていくこと。

※4 キリシマイスター認定制度 / 霧島市の人やモノ、すべてを対象に市民みんなで見つけて、褒めて、マイスター(親方、名人、巨匠の意。)に認定するプロジェクト。

施策の目標達成のための基本事業

1. ジオパーク活動の推進

出前講座^{※8}やフォーラム、モニターツアー^{※9}などを開催し、ジオパークの認知度向上を図るとともに、ジオパークの目的である地域の持続可能な発展を目指し、関係機関や民間団体と連携しながら、地域資産の保全、教育や観光への活用、防災への取組みを推進します。

2. 広域行政の推進

環霧島会議^{※10}や錦江湾奥会議^{※11}における活動を通じ、行政区域を越えた共通課題に対し、効率的に対処するとともに、地域全体の活性化を目指します。

また、高速道路や国道、主要地方道など幹線道路や、河川の整備、観光、福祉、教育など関係市町と連携して進めるべき事業については、協議会や期成同盟会等を設けるなど、協働して取り組むとともに、事業進展のため国や県に対して要望活動を行います。

3. 産官学^{※12}との連携の推進

地元大学・高等専門学校やJ A あいら、金融機関等と締結した連携協定を効果的に推進するため、組織体制の強化を通じ、積極的な意見・情報交換を行うとともに、継続的かつ具体的な事業を展開します。

また、世界的大企業や高い技術力をもつ先端企業が立地している等の本市の優位性を最大限に活用し、地域の多様な人材が活躍できる仕組みを構築します。

4. シティプロモーション^{※13}の推進

まちの持続的な発展や交流・移住人口の増加につなげるため、「褒め合うまち」をコンセプトとするキシマイスター活動を更に推進し、市民のまちへの愛着度を高め、市民と行政がともに本市の魅力づくりを行うとともに、学校や企業・事業所等においてキシマイスターを活用する場を広げることにより、キシマイスター活動の更なる定着化を目指します。

また、本市の認知度向上を図るため、SNS^{※14}等を活用した情報発信を市民とともにを行います。

注釈

※8 出前講座 / 市職員が地域等に出向き、市民を対象に市政等に関する理解を深めるために行う講座。

※9 モニターツアー / 依頼者が旅行費用の一部を負担することを条件に、一般のモニター（新しく開発されたサービス等について意見を述べること。）を募集し、旅行内容などの報告等をしてもらう旅行の一形態。

※10 環霧島会議 / 霧島山を中心に広がる鹿児島・宮崎両県の5市2町が、県境を越えた地域活性化を目指すため、2007（平成19）年11月に設立。

※11 錦江湾奥会議 / 錦江湾奥部と桜島周辺に位置する4市が、行政区域を越えた地域活性化を目指すため、2011（平成23）年8月に設立。

※12 産官学 / 産業界、国や自治体、大学や研究機関の総称。

※13 シティプロモーション / 地域を持続的に発展させるために、地域の魅力を創出し、地域内外に効果的に訴求し、それにより、人材・物財・資金・情報などの資源を地域内部で活用可能としていくこと。

※14 SNS / Social Networking Serviceの略。登録された利用者同士が交流できるWebサイトの会員制サービス。

みんなができること



市民

- ▶ 広域的な取組に関心を持ち、活動に参加しましょう。
- ▶ さまざまな活動を行うに当たっては、まちの魅力アップや活性化を意識しましょう。

地域

- ▶ 地域の魅力を知り、磨き、みんなで情報発信をしましょう。

事業所・団体

- ▶ 産官学で連携することにより、地域の魅力や価値を高める新たな取組を創出しましょう。
- ▶ 霧島ならではの魅力を備えた商品やサービスの提供に努めるとともに、これらの積極的な情報発信を行いましょう。



褒め合う交換日記



ジオガイドによるジオツアー